
「世界一の顧客価値の実現」

**2009年3月期
第2四半期決算説明会**

黒崎播磨株式会社

2008年12月3日

目次

09年3月期第2四半期決算の概要

09年3月期決算の見通し

第8次中期経営計画の進捗状況

機能性耐火物の競争力強化

インドへの展開について

(ご参考)当社の概要

2009年3月期第2四半期決算

■粗鋼生産量の伸び、製品価格改定により、売上高・営業利益ともに前年実績を超過

(単位:億円)

	07/9	08/9	前年同期比増減	
売上高	478.8	509.4	30.5	6.4%
営業利益	25.5	27.2	1.6	6.4%
経常利益	26.8	26.8	0.0	0.0%
当期純利益	16.9	13.1	△3.7	△22.1%

2009年3月期第2四半期決算の要点

売上高

(前年同期増減
+30.5億円)

- 増収:粗鋼生産量増および拡販、
原料高騰分(07年度分)の製品価格改定
- ▲減収:工事案件の売上減、
ファインセラミックス事業環境の低迷

営業利益

(前年同期増減
+1.6億円)

- 増益:原料高騰分(07年度分)の製品価格改定
耐火物事業の受注増
- ▲減益:原料・商品調達価格の高騰
会計制度(設備耐用年数、低価法)の変更

四半期純利益

(前年同期増減
-3.7億円)

- ▲減益:環境対策費の計上

当社をとりまく市場環境(上半期)

■鉄鋼業界は依然好調も、半導体製造装置業界は需要端境期

指標	実績	前年同期比
粗鋼生産量	6,150万トン (2008年度上半期)	2.8%増
国内四輪車生産台数	579万台 (2008年度上半期)	5.6%増
半導体製造装置受注高	5,001億円 (2008年度上半期)	41.5%減
電子デバイス生産高	4兆5,823億円 (2008年1~8月)	1.3%増

参考) 鉄鋼需要の動き(10月)

(社)日本半導体製造装置協会資料

経済産業省生産動態統計

※無断転載禁止

セグメント別売上高

■耐火物事業は堅調

■築炉事業は工事案件の売上減

■ファインセラミックス事業は半導体業界の需要低迷

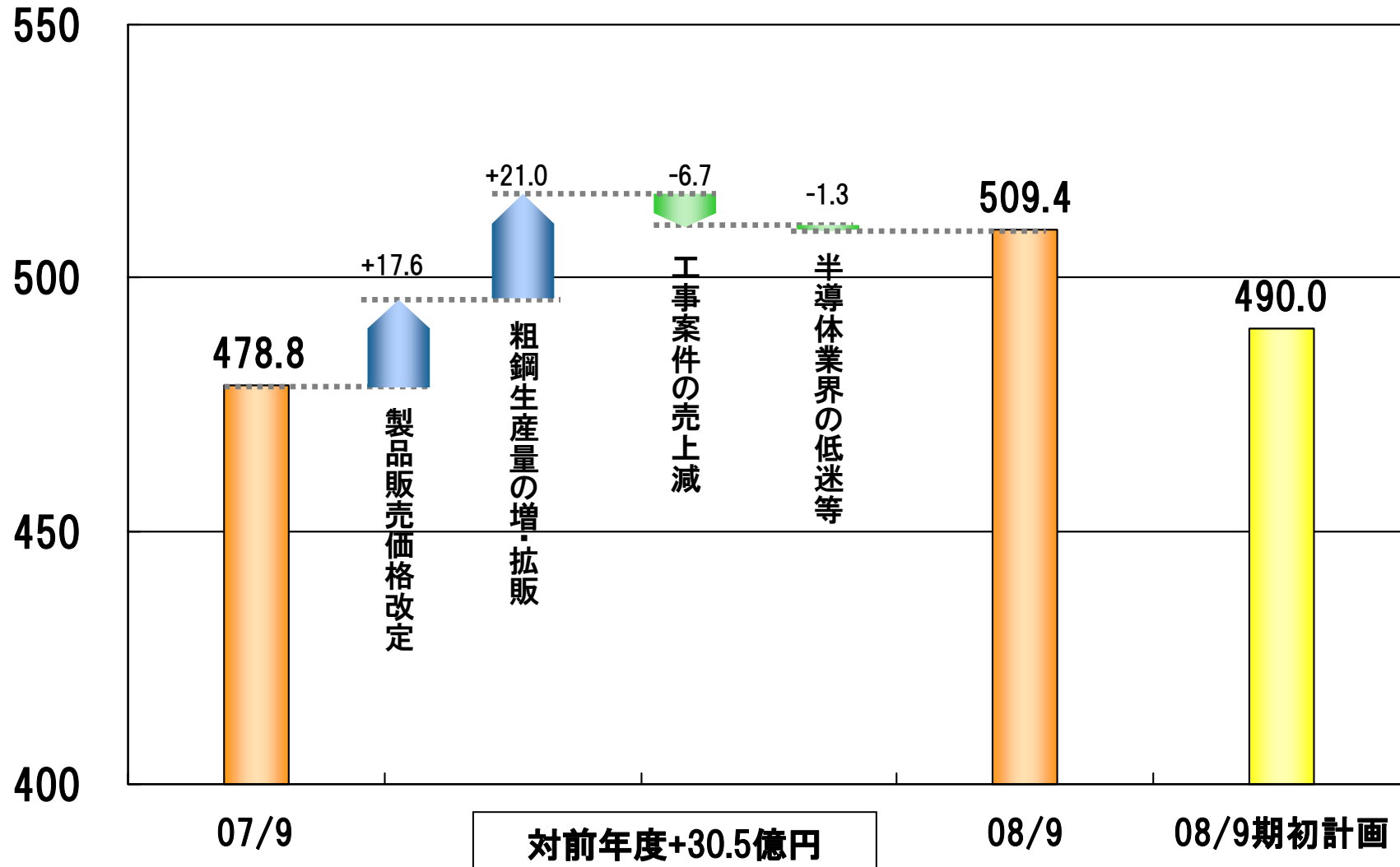
(単位:億円)

	07/9	構成比	08/9	構成比	前年同期比増減	
耐火物	348.3	72.7%	391.7	76.9%	43.4	12.5%
築炉	87.2	18.2%	76.2	15.0%	△11.0	△12.6%
ファインセラミックス	22.0	4.6%	21.4	4.2%	△0.6	△2.8%
不動産	5.1	1.1%	5.1	1.0%	△0.0	△0.2%
その他	16.4	3.4%	15.1	3.0%	△1.2	△7.6%
合計	478.8	100.0%	509.4	100.0%	30.5	6.4%

* ノウハウ収入については今期より築炉から耐火物セグメントへ移動(4.1億円)

売上高増減要因(09年3月期第2四半期)

(単位:億円)



セグメント別営業利益

■いずれの事業も概ね前年同期並

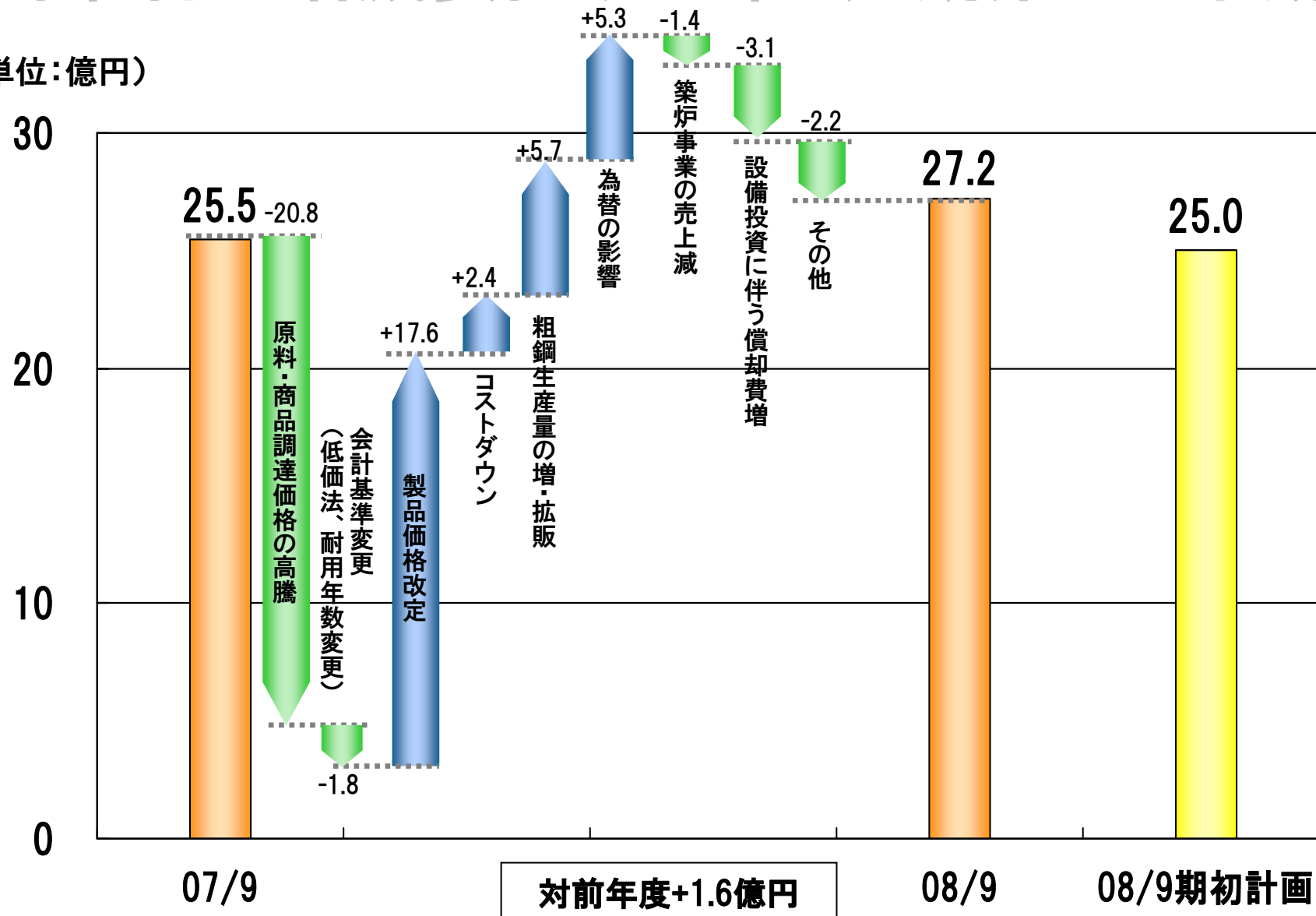
(単位:億円)

	07/9	構成比	08/9	構成比	前年同期比増減	
耐火物	19.0	58.4%	25.3	74.2%	6.4	33.7%
築炉	9.8	30.3%	6.4	18.6%	△3.5	△35.4%
ファインセラミックス	1.3	3.8%	0.5	1.4%	△0.8	△61.6%
不動産	1.5	4.6%	1.4	4.2%	△0.1	△4.0%
その他	0.9	2.9%	0.5	1.5%	△0.4	△46.2%
合計	32.5	100.0%	34.1	100.0%	1.7	5.1%
消去又は全社	(7.0)	—	(7.0)	—	—	—
連結	25.5	—	27.2	—	1.6	6.4%

*ノウハウ収入については今期より築炉から耐火物セグメントへ移動(営業利益3.8億円)

営業利益増減要因(09年3月期第2四半期)

(単位:億円)



BSの状況

- 総資産増加 : 棚卸資産・売掛金の増加、設備投資および出資
- 有利子負債増: 投資および出資のための資金調達、棚卸資産の増加
- 純資産減 : 保有株式価格下落による有価証券評価額の減少

(単位:億円)

	08/3	08/9	08/3末比増減	
総資産	790.2	895.7	105.5	13.4%
流動資産	417.3	467.7	50.4	12.1%
固定資産	372.9	428.0	55.1	14.8%
(投資有価証券)	44.4	74.2	29.8	67.2%)
負債	457.7	578.5	120.8	26.4%
(有利子負債)	124.3	216.3	92.0	74.0%)
純資産	332.5	317.2	△15.3	△4.6%
(その他有価証券 評価差額金)	12.7	△11.5	△24.2	—)
自己資本比率	40.7%	34.1%	—	△6.6%

キャッシュフロー

- 営業活動CF: 売掛金、棚卸資産の増加
- 投資活動CF: 設備投資および出資の増
- 財務活動CF: 投資活動の資金を借入

(単位: 億円)

	前年同期	当期	昨年度(参考)
現金及び現金同等物の期首残高	35.4	27.7	35.4
営業活動によるキャッシュフロー	26.8	11.0	45.9
投資活動によるキャッシュフロー	△24.2	△100.2	△48.7
フリーキャッシュフロー	2.6	△89.2	△2.8
財務活動によるキャッシュフロー	△2.9	80.9	△5.1
キャッシュフロー合計	△0.3	△8.3	△7.9
現金及び現金同等物の期末残高	35.5	19.6	27.7

目次

09年3月期第2四半期決算の概要

09年3月期決算の見通し

第8次中期経営計画の進捗状況

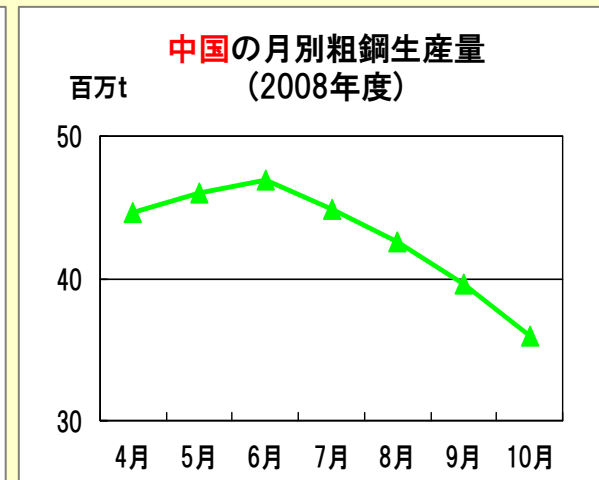
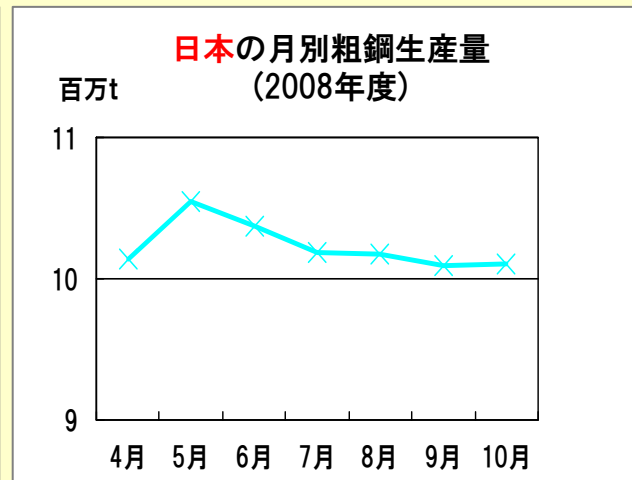
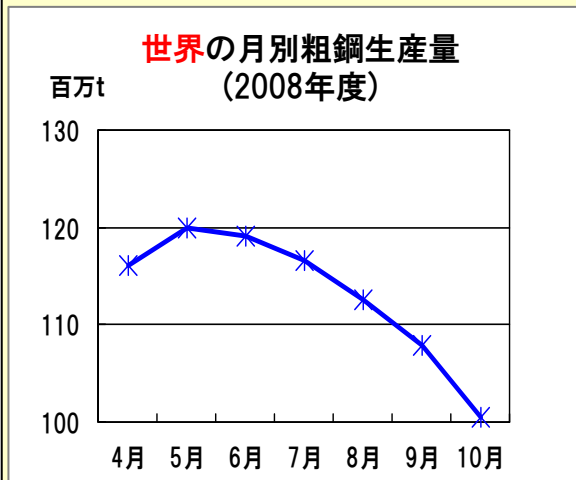
機能性耐火物の競争力強化

インドへの展開について

(ご参考)当社の概要

当社を取り巻く市場環境(10月以降)

①自動車・建築の生産減による鉄鋼需要減衰



*(参考)IISI生産速報

②世界の半導体不況長期化

③原料調達価格の上げ止まりの感あり

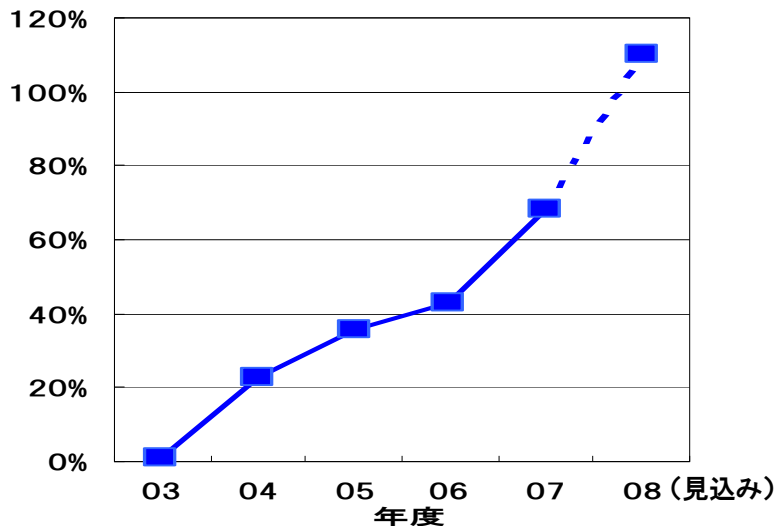
④為替(円高):入超構造、為替差益

⑤製品価格につき、期中価格改定の交渉継続中

原料価格の高騰と対応

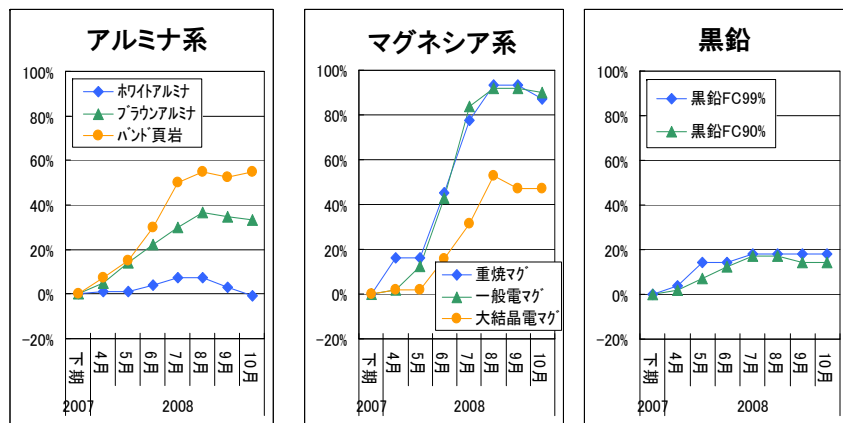
■先行き不確定要素はあるものの、上げ止まりの感あり

【原料の値上がり率(基準:2002年度)】



- 1)世界的需要は緩和
- 2)北京オリンピック前後の混乱による価格高騰は一段落
- 3)中国の生産規制強化(安全/環境)、原燃料コスト増等による**生産コストアップ**
- 4)**E/L価格の動向、輸出税の新規課税、税率アップ**等の不確定要素

【品種別原料特定銘柄(市況観)】



1. 原料の安定確保

- ・中国での安定調達先(量、品質)開拓、長期契約
- ・中国以外での新しい原料調達先開拓
- ・鉱山資源への直接/間接投資による安定調達構造の拡大

2. 製品価格の改定

- ・例年、前年度値上がり分を翌期の価格に反映
- ・今年度は、上半期値上がり分の価格転嫁を交渉中

2009年3月通期見通し

■ 厳しくなる事業環境のなかではあるが、
コストダウン・拡販・価格改定により期初見通しを据え置く

(単位:億円)

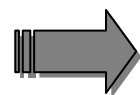
	08/3 実績	売上高比	09/3 計画	売上高比	前年同期比増減	
売上高	953.8	100.0%	980.0	100.0%	26.2	2.8%
営業利益	49.9	5.2%	50.0	5.1%	0.1	0.1%
経常利益	48.0	5.0%	48.0	4.9%	0.0	0.1%
当期純利益	32.3	3.4%	28.0	2.9%	△4.3	△13.4%

株主様への還元

■株式価値の改善

自己株式取得を実施

- ・平成20年2月12日～3月21日 1,933,000株
- ・平成20年11月14日～26日 4,000,000株



保有自己株式数 : 6,600,536株

自己株式保有割合 : 7.24%

*11月26日時点

■09年3月期：昨年と同額の5円を配当予定

- ・各期の業績に応じた配当
- ・今後の事業展開、財政状況、経営環境等を勘案して配当を実施

		07年3月期 実績	08年3月期 実績	09年3月期 予定
通	期	5円	5円	5円

目次

09年3月期第2四半期決算の概要

09年3月期決算の見通し

第8次中期経営計画の進捗状況

機能性耐火物の競争力強化

インドへの展開について

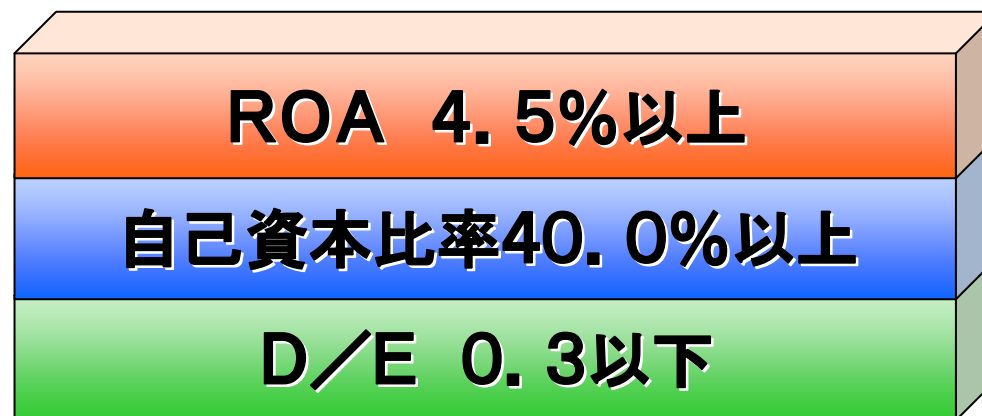
(ご参考)当社の概要

第8次中期経営計画における財務体質の強化 ('06～'08年度)

- 資産の健全化
 - ・ 効率化追求
 - ・ 不要資産の売却等
- 競争力を高める投資
- 競争力を高める研究開発
- 健全なCF



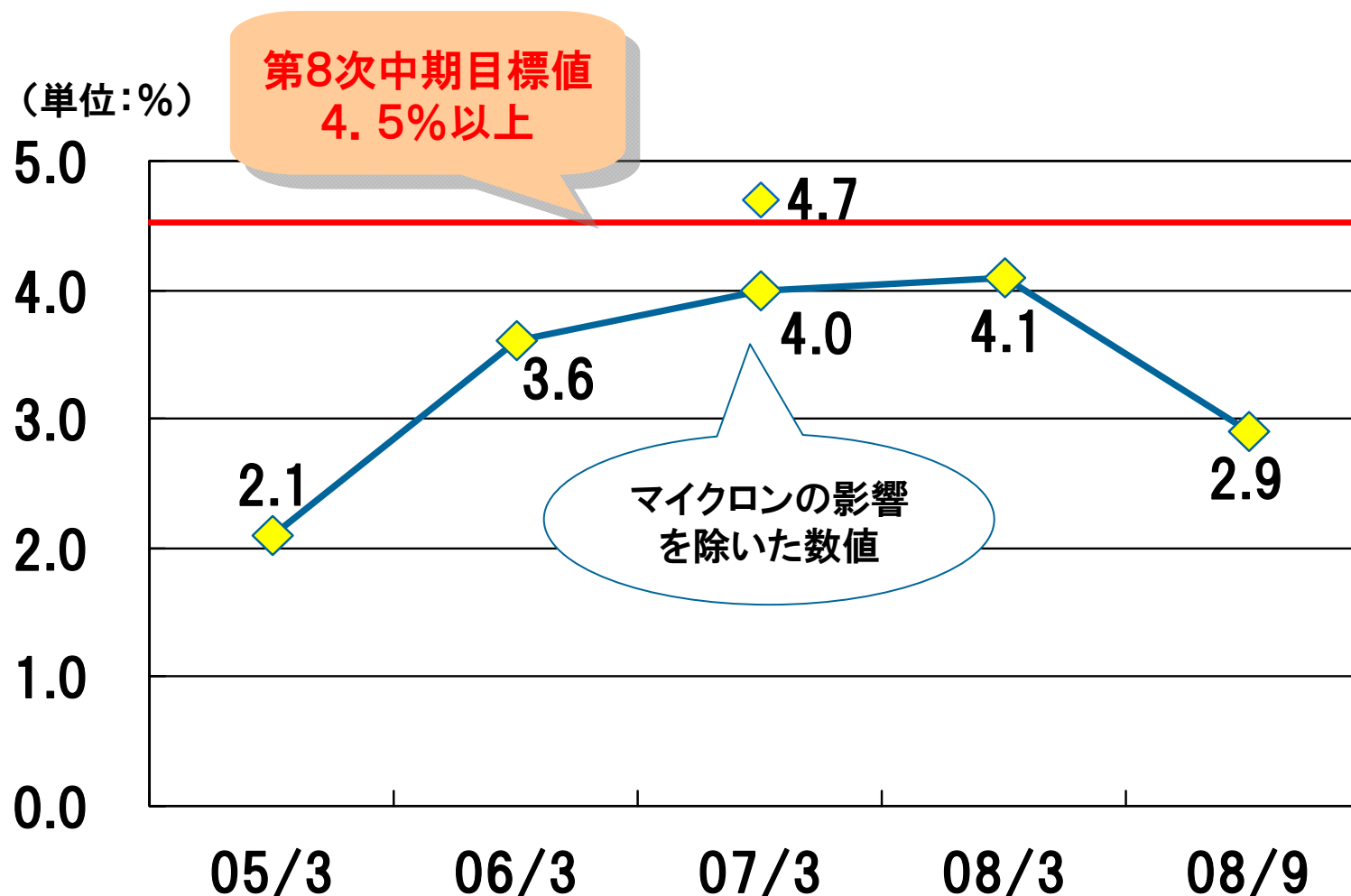
- 1) 筋肉質な「資産」
- 2) 利益体質の強化



第8次中期経営計画('06~'08年度)の進捗状況

■ROA(連結): 中期的戦略の遂行と負の遺産一掃

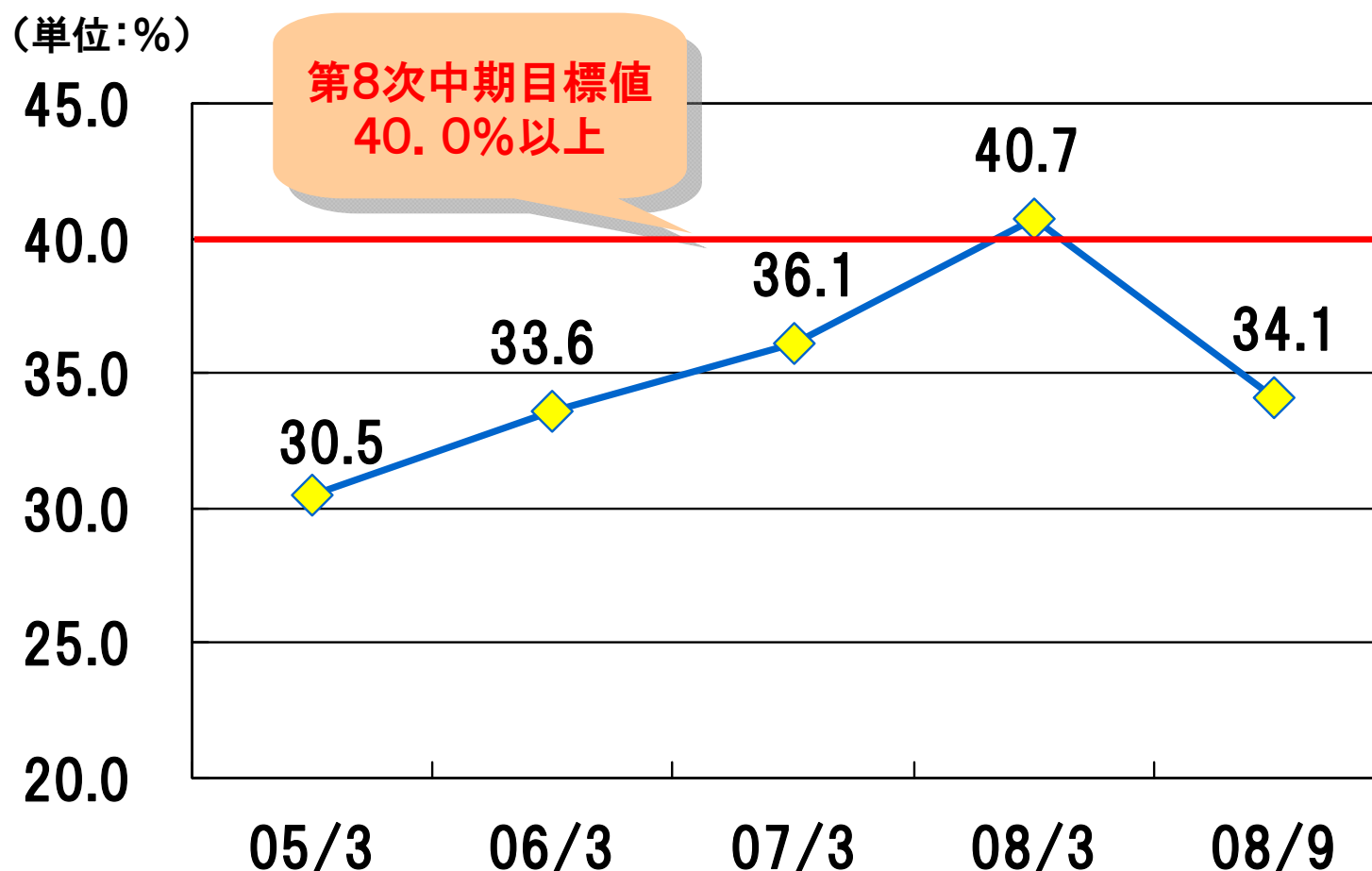
- ・資産(A)は、戦略的投資、出資により増加
- ・当期純利益(R)は、環境対策費の計上により減少



第8次中期経営計画('06~'08年度)の進捗状況

■自己資本比率(連結):

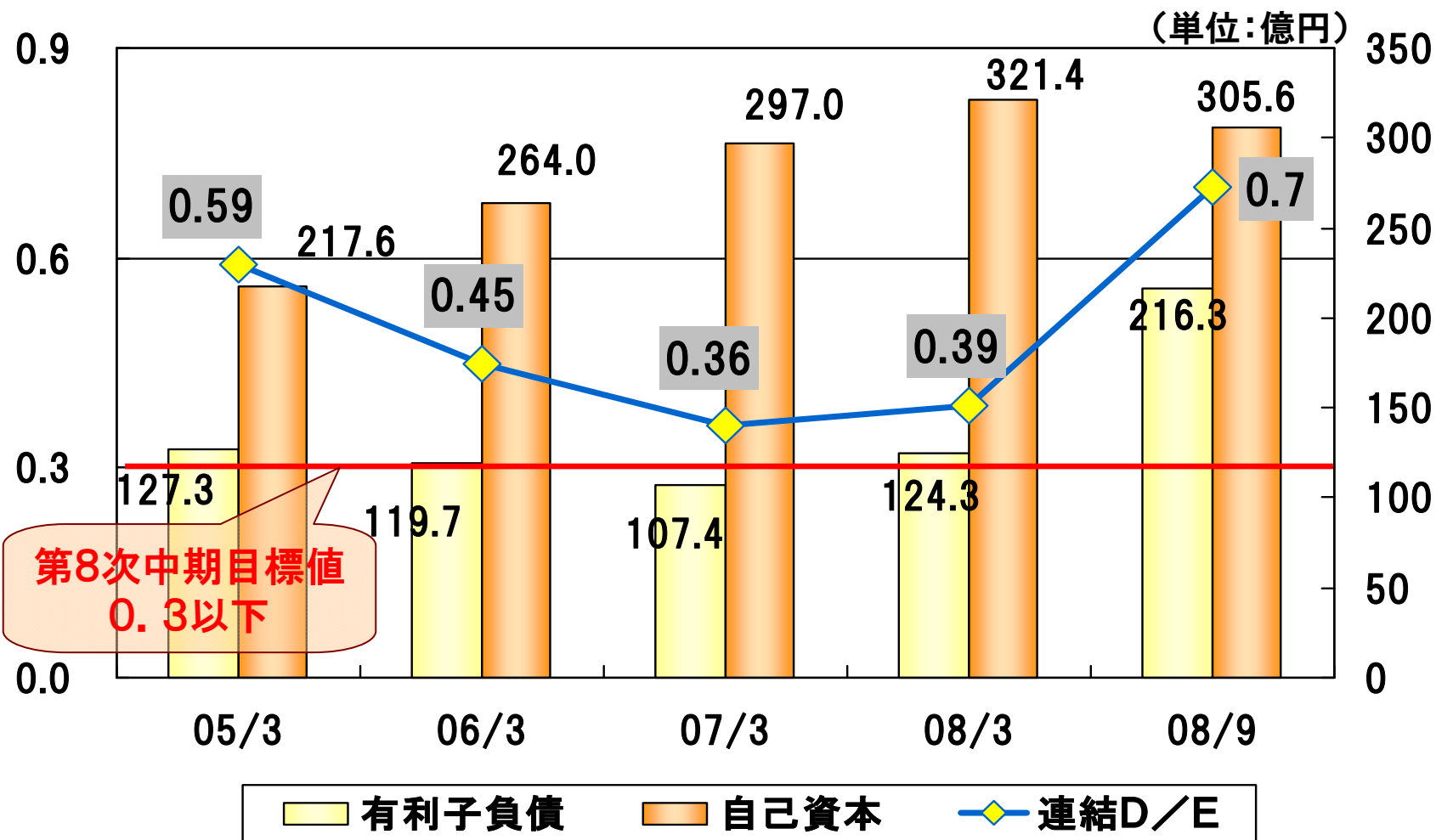
投資・出資のための借入金増、投資有価証券等の評価額が減少



第8次中期経営計画('06~'08年度)の進捗状況

■D/Eレシオ(連結):

戦略的な海外展開のために借入金が増加

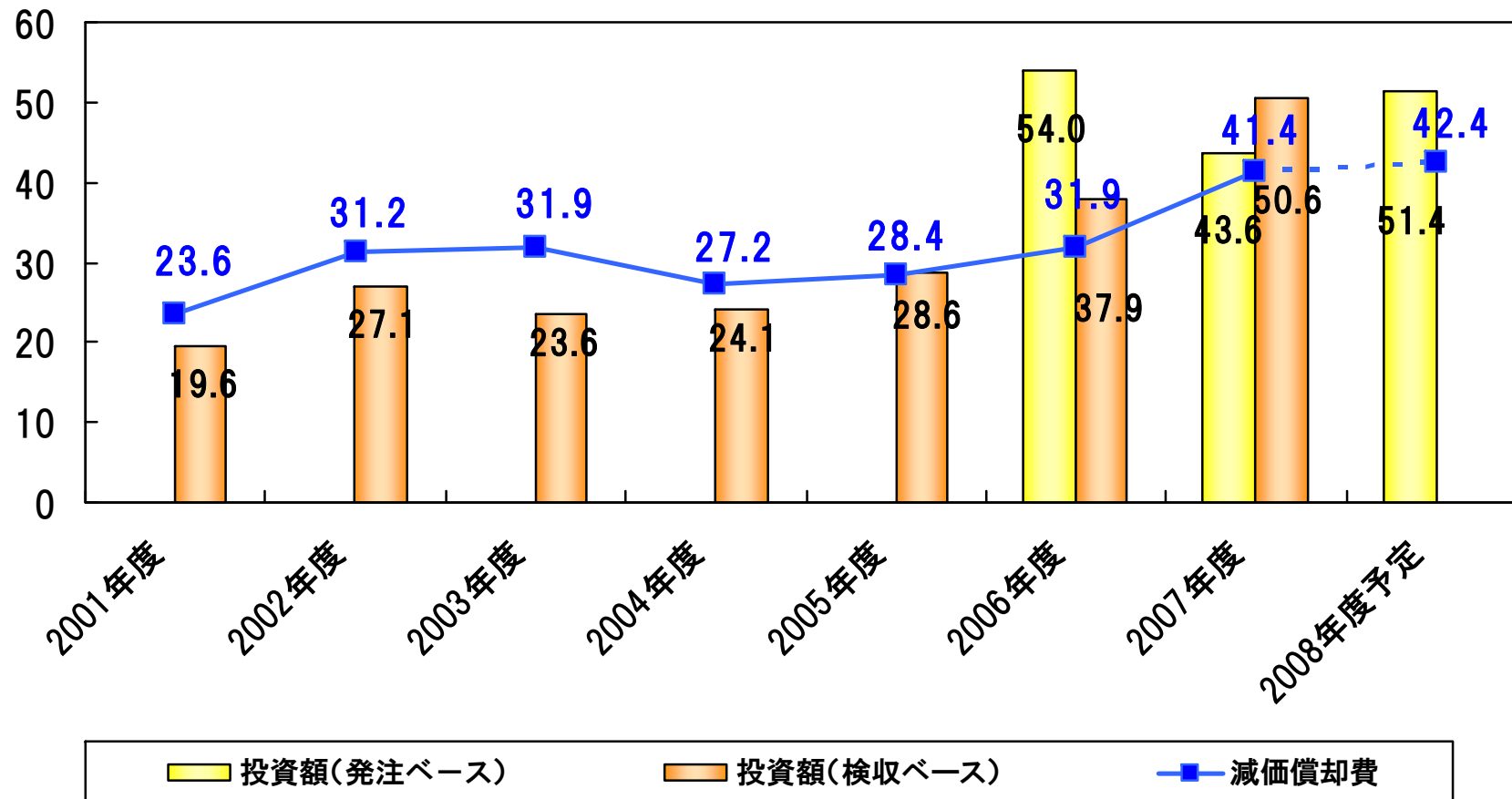


競争力の強化

■次世代新商品の投入、製造プロセスの革新

長期的観点から、競争力強化のための投資は今後も継続

(単位:億円)



※2001～2005年度については(株)マイクロンの実績を除く

目次

09年3月期第2四半期決算の概要

09年3月期決算の見通し

第8次中期経営計画の進捗状況

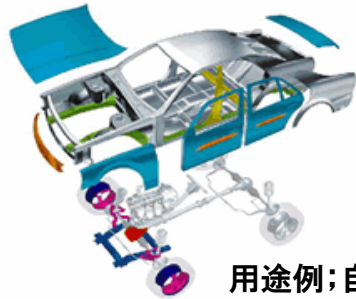
機能性耐火物の競争力強化

インドへの展開について

(ご参考)当社の概要

製造技術力・競争力強化への取組み

《ミドル・ハイグレード鋼》



用途例;自動車

《機能性耐火物》



ポーラスプラグ
(PB)

[機能]
介在物浮上
溶鋼均質化



スライディング
ノズル(SN)

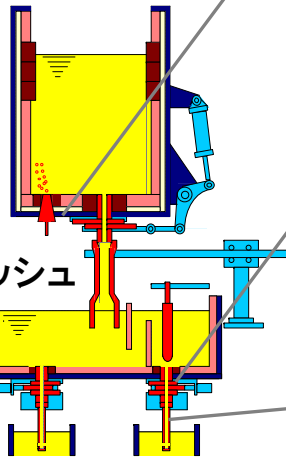
[機能]
溶鋼流量制御



チューブ(AG)

[機能]
溶鋼酸化防止
溶鋼整流化

《製鉄:連続铸造設備》



連続铸造機

製鉄所の

スループットマックス
(高付加価値鋼× 安定高生産)

を実現する機能性耐火物

- 高機能、高耐用、高精度
- 高信頼(トラブルフリー)



プロセス
革新

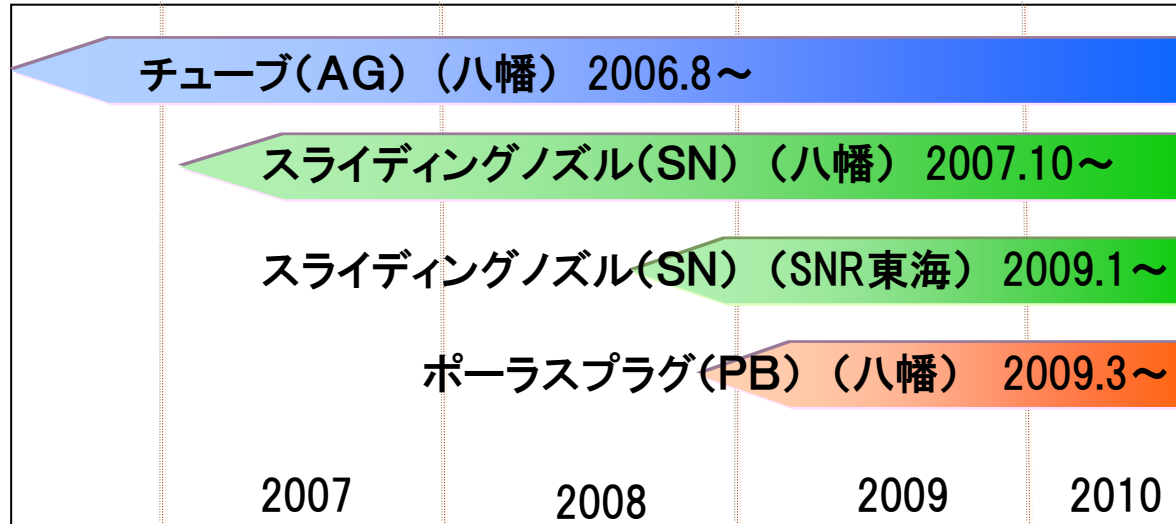
新商品

- 耐火物組織制御
- ナノ技術の適用
- 最適形状・構造設計

製造技術力・競争力強化のスケジュール



- 品質の安定した新商品の製造
- プロセス革新
- 生産性向上
- 環境負荷低減



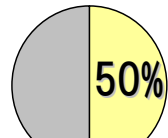
* 公的機関からの
ECO助成金

《国内シェア(金額)》

【新商品の適用例(従来当社比)】

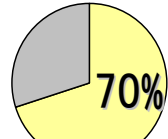
《ターゲット》

チューブ(AG)



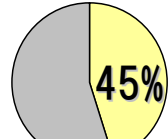
耐用 **25%** アップ

スライディングノズル(SN)



耐用 **30%** アップ

ポーラスプラグ(PB)



耐用 **30%** アップ



* 当社調べ

安定・高耐用/トラブルフリー

目次

09年3月期第2四半期決算の概要

09年3月期決算の見通し

第8次中期経営計画の進捗状況

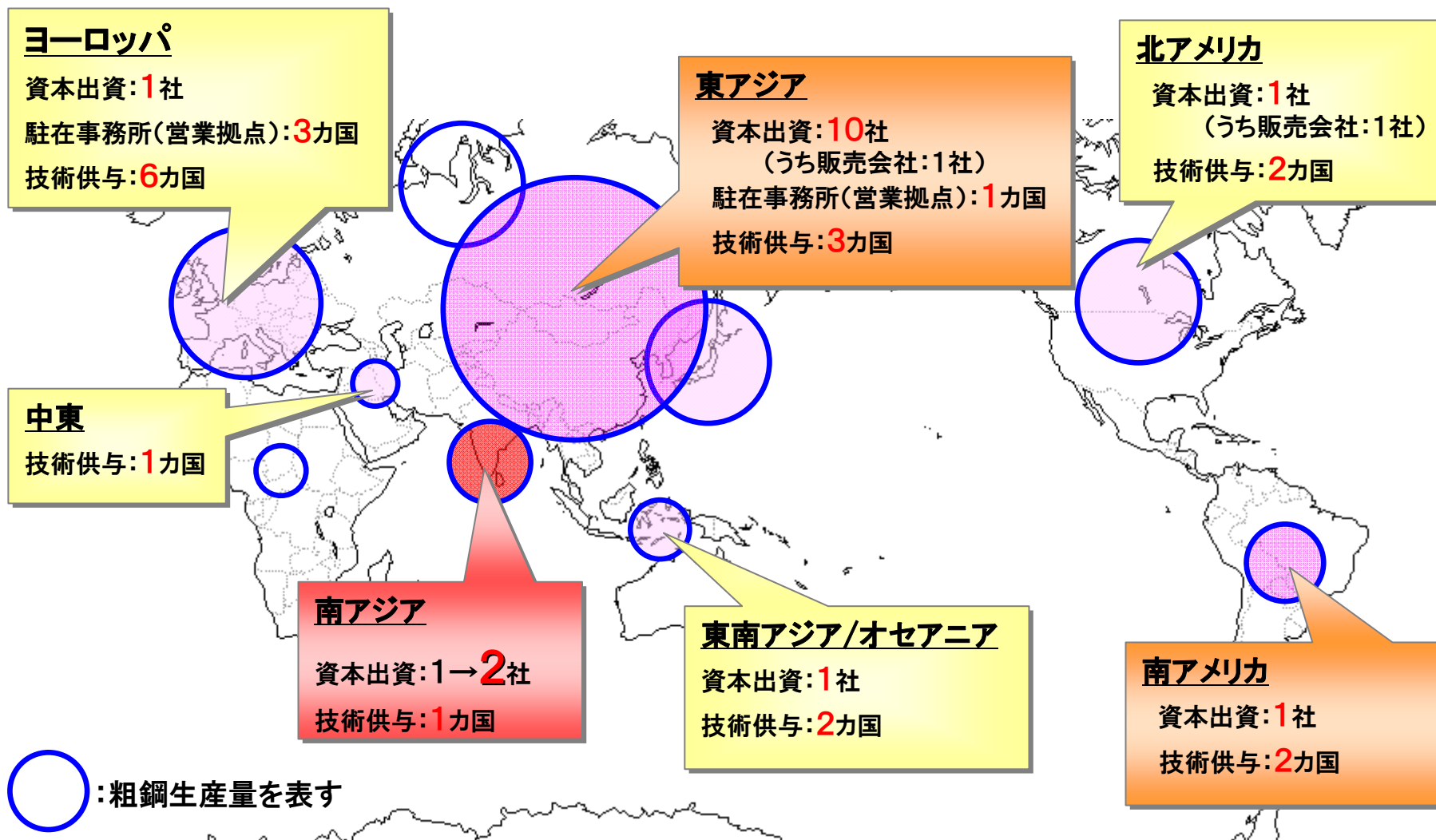
機能性耐火物の競争力強化

インドへの展開について

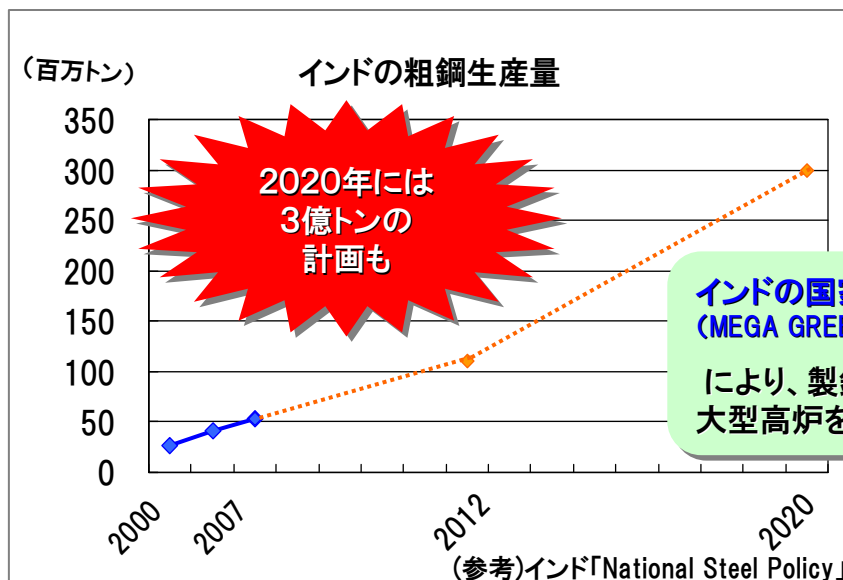
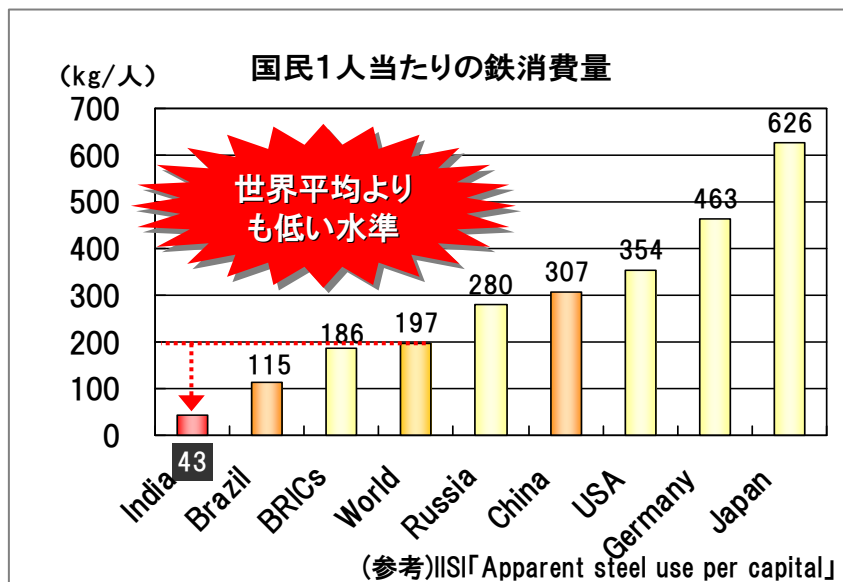
(ご参考)当社の概要

当社のグローバル展開

■世界の主要な鉄鋼市場に高品質・高機能の製品、技術を提供



発展するインド市場とその対応



■インドでの高級鋼生産量の伸び

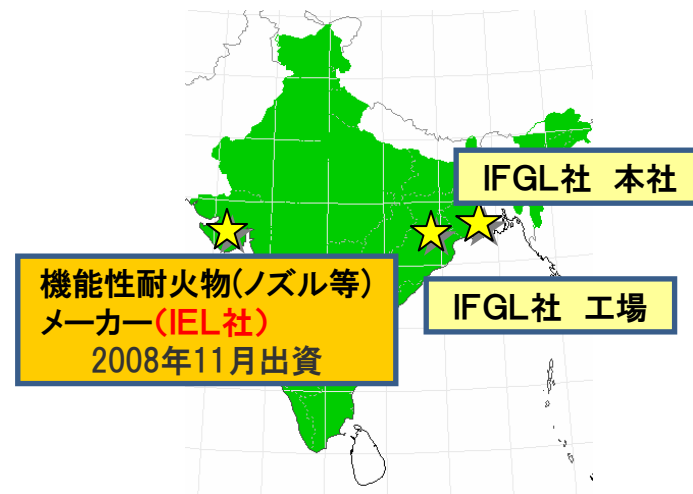
- ・新日本製鉄とタタ製鉄の自動車用鋼板における技術提携関係

■東南アジアへの地理的優位性

- ・将来的にはベトナム、タイ市場への輸出も

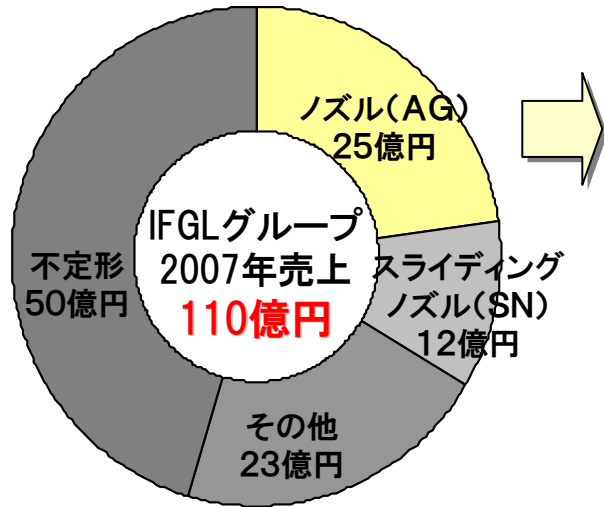
■製鉄の原料立地/耐火物原料の安全保障

インド出資先パートナー(IFGL)とのインド展開の第一ステップ

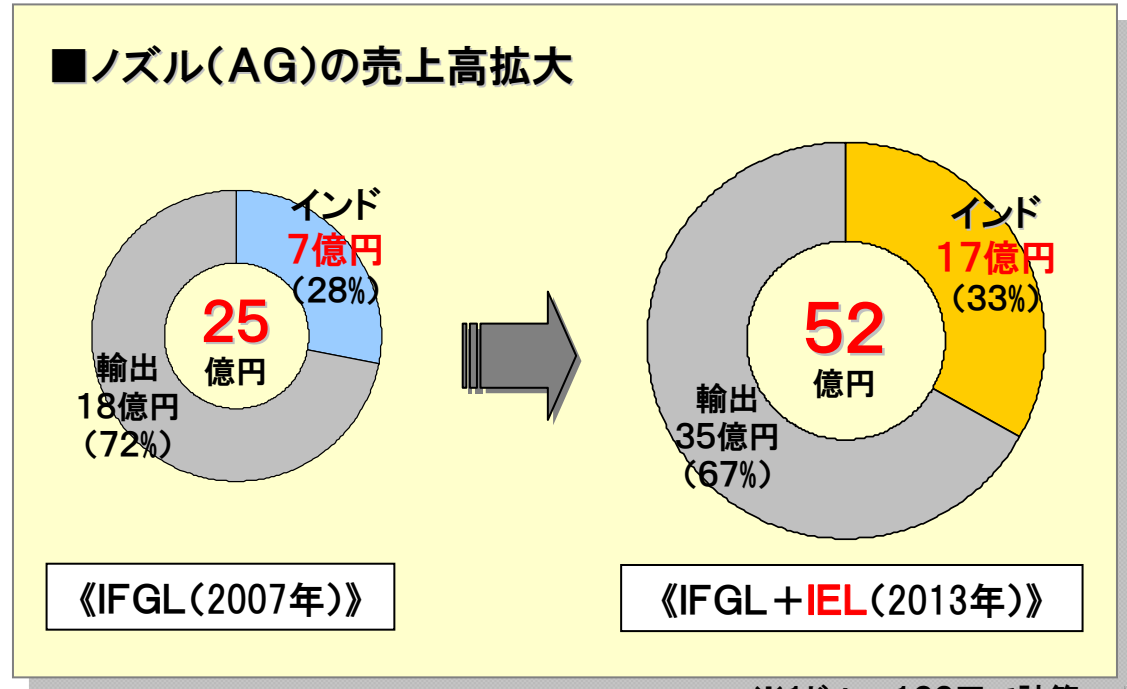


インド出資先パートナー(IFGL)とのインド市場展開

■IFGLグループ 製品別売上高



■ノズル(AG)の売上高拡大



※1ドル=100円で計算

IFGL社	当社	4.57%	創業者一族	57.95%	その他	37.48%
	IEL社(ノズル) (2008年出資)	当社	20%	IFGL	51%	創業者一族

目次

09年3月期第2四半期決算の概要

09年3月期決算の見通し

第8次中期経営計画の進捗状況

機能性耐火物の競争力強化

インドへの展開について

(ご参考)当社の概要

会社概要

(2008年9月末現在)

【商号】 黒崎播磨株式会社

【資本金】 5,537百万円

【設立】 1918年10月14日

【主要事業】 耐火物製造・販売

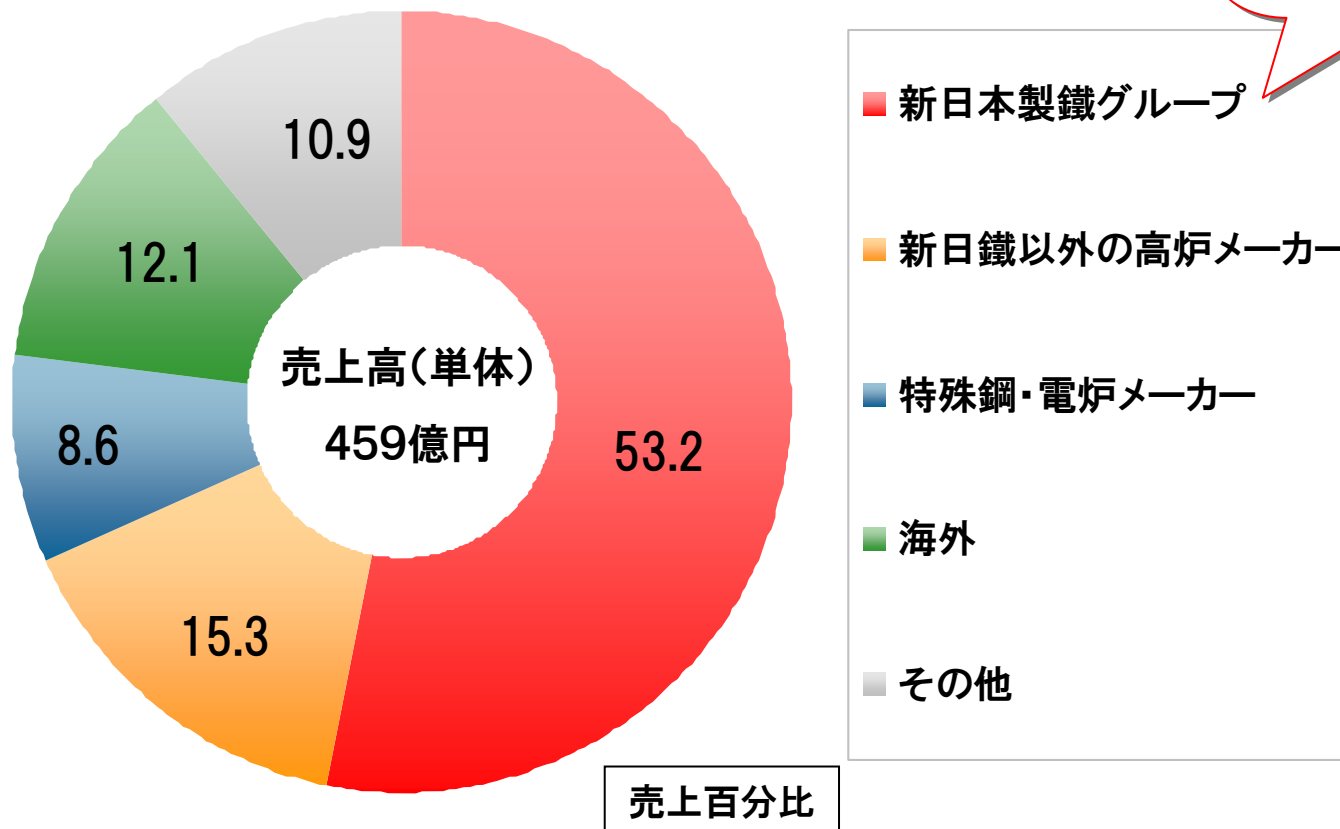
【従業員】 連結2,823名、単体1,152名

【連結対象会社】 12社（国内7社、海外5社）

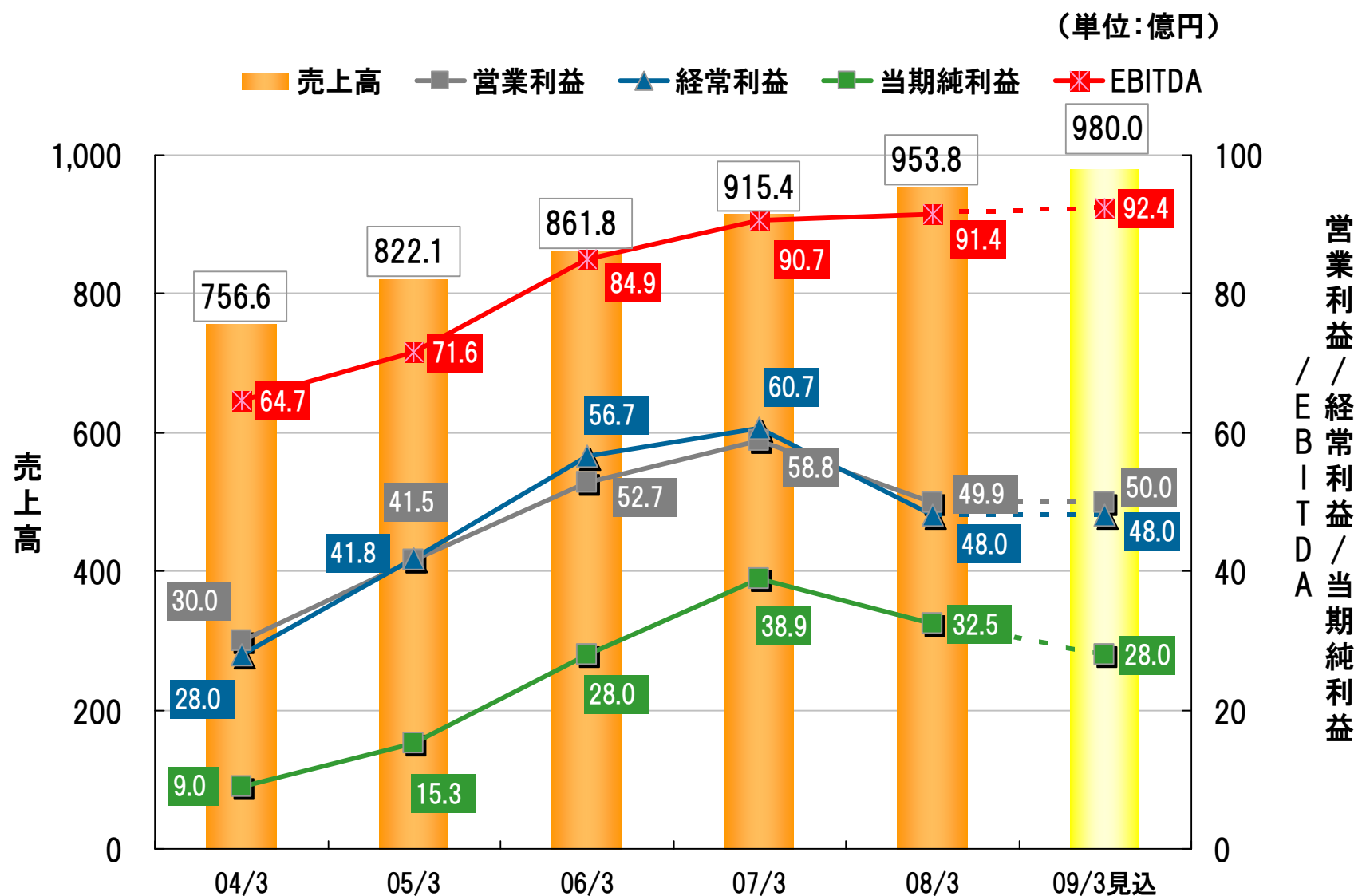
（持分法適用会社も含む）

得意先別売上構成比(2008年9月期:単体)

■納入先は国内外の高級鋼メーカー



業績推移(連結)



決算説明会について

将来にわたる予想の部分につきましては、皆様の投資のご参考資料としてご提供するものです。

したがって、当社の推測・予測に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。

予測と異なる結果となることがあるということをご了承の上ご活用いただきますようお願い申し上げます。